

第46回全国高等学校総合文化祭東京大会「大会愛称・ロゴ、シンボルマーク、イメージカラー、マスコットキャラクター及び大会テーマ毛筆表現」

〈大会愛称・ロゴ〉



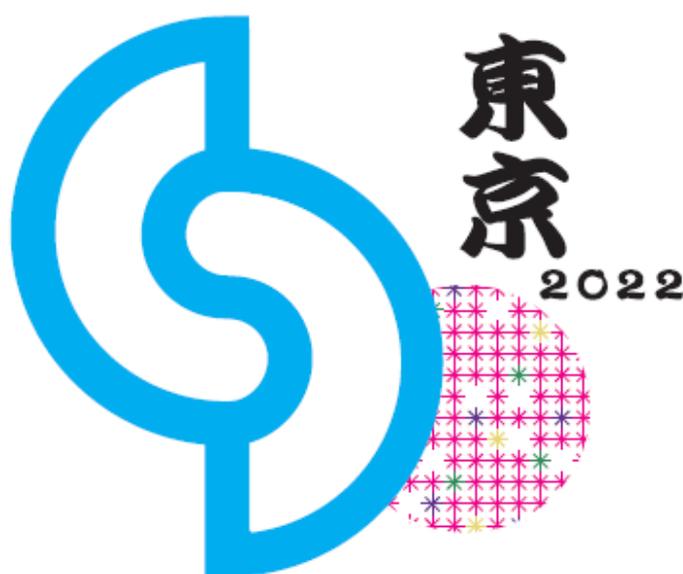
とうきょう総文2022

(読み方：とうきょうそうぶん に せんに じゅうに)

大会愛称・ロゴは、大会テーマにある「江戸」のイメージを江戸紫で表し、「東京」を平仮名にすることで、柔らかさやしなやかさを表現している。

また、総文の文字の上には、東京都の花である「そめいよしの」をモチーフとして花びらをあしらい、夏の花火のようなデザインにすることで、華やかな東京をイメージしている。数字部分には爽やかな風を感じるよう、桜吹雪を入れている。

〈シンボルマーク〉



シンボルマークは、大会基本方針にある「光」をイメージし、星印を江戸小紋のような連続紋様に見立て、「毬」の形に仕上げている。

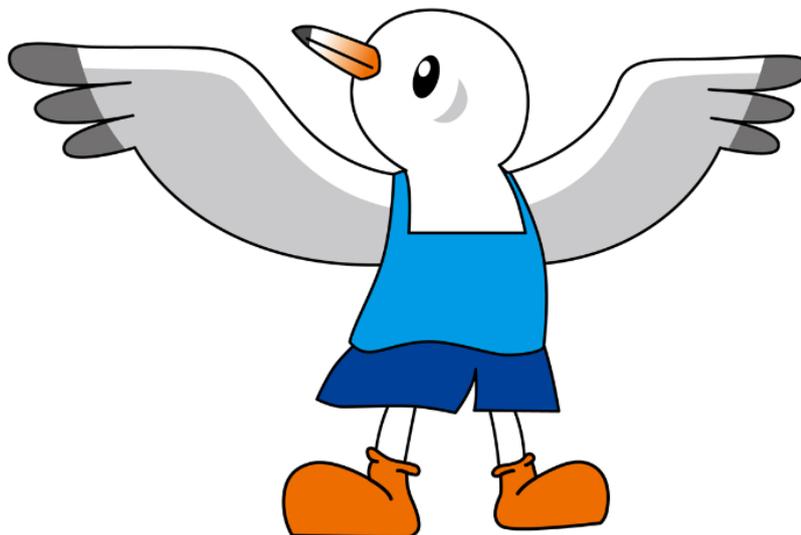
「東京」の書体も「江戸文字」を使用し、江戸期から受け継がれてきた伝統文化を表している。

<イメージカラー>

	えどむらさき 江戸紫	N 9 2 6	江戸時代から伝わる伝統色
	かりやす 苅安	N 8 0 4	大会基本方針と大会テーマである「光」のイメージ
	おうむどり 鸚鵡緑	N 8 4 6	東京都の木「いちろう」の色で、緑豊かな自然のイメージ
	さくらんぼいろ 桜桃色	N 7 0 3	東京都の花「そめいよしの」のイメージ
	そらいろ 空色	N 8 7 7	東京都に広がる海と空のイメージ

<マスコットキャラクター>

ゆりーと



「ゆりーと」は、スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会及び第13回全国障害者スポーツ大会）を応援するために誕生したキャラクターで、都民の鳥「ユリカモメ」をモチーフとしている。

「ゆりーと」は、大会終了後、広く東京都全体のスポーツ振興のため「スポーツ推進大使」として活躍しているが、今回、とうきょう総文2022のマスコットキャラクターとしても活用する。

<大会テーマ毛筆表現>

令和元年4月22日（月）から7月19日（金）まで東京都高等学校文化連盟書道部門加盟校を対象に「大会テーマ毛筆表現」を募集したところ、縦書き 138 点、横書き 65 点 計 203 点の応募があった。応募作品を厳正に審査して、縦書き及び横書きの作品について、最優秀作品各 1 点、優秀作品各 1 点を決定した。

○ 最優秀賞

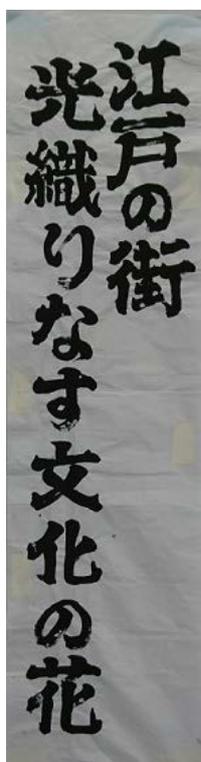
縦書き

東京都立井草高等学校 2年 佐山 実夏

横書き

女子美術大学付属高等学校 2年 小井土 凜

縦書き



横書き



「作品の説明（横書き）」

高校生のもつ力強さ、パワーを力強い隷書で表し、「光織りなす」という言葉から柔らかな印象をもったので、強さだけを意識するのではなく、曲線でなめらかにするように工夫しました。

「作品の説明（縦書き）」

江戸文字を使用し、隙間が目立たないように、ずっしりとした江戸のイメージと合うように書きました。

○ 優秀賞

縦書き

校成学園女子中学高等学校 2年 重田 陽香

横書き

大妻高等学校 2年 柿内 彩花